

もう業者のカモにはならない
品質表示だけではわからない

羽毛布団の損をしない選び方

《羽毛ふとんの価格の秘密・**秘**レポート》

2018年改訂版



発行

KODAMA インテリアと
寝具の **こだま**

〒729-3101 広島県福山市新市町戸手133-5
TEL(0847)52-3732 FAX(0847)52-3723

通話料無料 0120-210-778

<http://www.anmin-ne.com>



まえがき

祖母が号泣したあの日の出来事

何故羽毛布団の品質に、こんなに私が強くこだわるようになったのか？

それは祖母が号泣した、あの日の出来事があったからです。

製鉄所研究員から転身し、父の店を手伝うようになって間もなく、母方の祖母から「叔母の婚礼ふとんを見て、リフォームをしてほしい。」

と、連絡がありました。もう四十数年前の事です。

その叔母は、祖母にとって、高齢で生まれた末子で、しかも体があまり丈夫でなかったため、特に可愛がっていた子です。

わたしとは五つ上の姉のような存在でした。

その叔母が結婚した時、用意した婚礼ふとんが、

「なか綿が重く、固くて、寝ても寒いので、高額だったし、もったいないので、軽く柔らかくリフォームしてくれ。」

と、いう事でした。

その当時、結婚には、仲人さんの存在を無視できない時代で、婚礼支度の高額品は、呉服も寝具も、ミシンも電化製品も、すべて仲人さんが指定する店で買わねばいけない風潮でした。

その指定店で用意した布団が、嫁いだ娘の家に泊まって寝てみたら、

「ひどい布団だった。」

というのです。

そこで、祖母の目の前で、ふとんの綴じ目を開いてなか綿を確認すると、なんと、黒い綿が入っていたのです。

それは、当時最低レベルの綿と知られていた、紡績くずからの再生綿でした。

がわ生地は高額の上絹緞子で、見た目だけでは高級に見える布団です。

そのなか綿を見た瞬間、祖母が大声を上げて泣きだしたのです。

その祖母は、常々

「世が世なら、」

が口癖の人でした。人がうらやむ戦前の暮らしから、一変した戦後の厳しい生活の中を、必死でやりくりしながら、末子の娘の婚礼には、世間に恥じぬありったけの支度をしたつもりだったのに、

「わしはこれ程まで、商売人から軽くあしらわれ、馬鹿にされるようになったのか？ 勧められるままに選び、値切りもせず金を使ったのに。」

生涯守り続けた自分のプライドを、ズタズタにされた思いだったに違いありません。

そのふとんは、そっくり最上級の木綿ワタに入れ替え、届けました。

私の祖母以外にも、同じような思いをされた方は、数知れないことでしょう。

中身の分かり難い商品だけに、中身をごまかすことはあたりまえ。老舗店の看板をいいことに、お客様をだまし放題の店は、いまなお少なくありません。

私が好きな格言に、

『袖擦り合うも他生の縁』

と、という言葉があります。道端で、すれ違いざまに袖が触れ合っただけでも、過去遠遠劫の縁がある人という意味だそうです。

オンラインでもオフラインでも、どんな形でも縁が有る方には、祖母のような理不尽に出会って欲しくない。そのためにも、このレポートがお役に立てば幸いです。



まえがき.2

何故、羽毛布団の真実にここまでこだわるのか？

あの場面は、今でも鮮やかによみがえってきます。忘れもしない、三十数年前の同業者の懇親会の席の事です。

日本で羽毛布団が普及し始めたばかりの頃の事です。地域の先輩寝具店社長が、羽毛布団の売り方について、私に説教を始めました。

「お前は羽毛布団の中綿比較について、熱心にお客に説いているが、目隠しテストをして、100%見分けがつかないと言いつけるか？」

もちろん、目隠しでは、生地素材とふっくら感とドレープ感がわかるだけで、メーカー表示を見ないと正しい判断ができるはずはありません。

「それ見てみる。何もわからない消費者は、目隠しをしたお前と同じだ。判断ができない消費者に、なんでまともな中身の羽毛布団を売らなきゃいけないんだ。お前はバカか？」

返す言葉が見つからず、ショックでした。その寝具店は、今やテレビ宣伝に知名度のある女優を登場させるほどの、日本でも指折りの超大型寝具店に成長しています。

別の西川チェーン店をしていた、大先輩が、

「君の店は〇〇メーカーの羽毛布団は扱わないのか？あそこ取引しないと、儲からないぞ！仕入れが安くて、言う通りの表示にしてくれる。同じスペックの同じ柄の品が、入荷日によって嵩に差があったりして、何が入ってるかわからないけど、そんなこと気にしてたら儲からんからなあ。」と、高笑い。

酒が進み、宴たけなわに盛り上がったころ、酔っぱらった長老社長が寄ってきて、私の胸倉つかんで、

「お前が中身の説明をあまりするから、お客から質問をされた他のふとん店が迷惑してるぞ。布団を売るときには、広げて『どうです。綺麗な柄でしょう？触って気持ちいいですよ！』だけで十分だ。」

と、振り回されました。

製鉄所研究員から父の寝具店に転身したばかりの私には、異次元に迷い込んだような、喪失感を感じたことが忘れられません。

そのことが端緒となって、目隠し状態のお客様に、どうやったら一番分かり易いのかと、乗用車に例えたところとても理解されやすくなった事が、中身説明に拍車をかけるきっかけとなったのです。

失敗しない羽毛ふとん選びの第一歩

先進国・日本で食品の表示偽装が相次いでいます。さらには、産業界全体にも、検査偽装など考えられない理不尽が横行しています。ましてや、中身が分からない羽毛ふとんの偽表示は目を覆うばかり。

有名な東証一部上場訪販会社の、わずかな社会貢献を売り物に、無茶としかいいようがない格安羽毛布団の高値販売。又、最近問題となってきた、まさに犯罪とも言える 悪質訪問販売と催眠商法。

などなどの実例は、枚挙に暇がありません。

羽毛ふとんの中綿についても関係者の間で、密かに語りつがれている事があります。日本でとても人気のある、ハンガリーグース羽毛について、生産国のハンガリーから出荷された十数倍の量が、日本において販売されている。(ワッ)



いま日本で羽毛ふとんを自社仕立てしている業者は、星の数ほどあります。あなたの、近くにも、「羽毛ふとん製造工場直販」がウリの布団店が、ありませんか？

わずかなスペースと、少しの縫製技術と、少額の設備投資で羽毛ふとん製造は可能なのです。

こうした羽毛布団仕立工場では、肝心の中綿羽毛を精製する事ができません。一部の大手メーカーを除いて、殆どどの羽毛ふとん仕立業者が、羽毛中綿の精製のほとんどを、海外の工場(中国・台湾)に依存しています。そして、中国などから仕入れた『がわ生地』に、吹込み機で直接封入するだけなのです。

また、悪しき慣習で日本の業者は『値切る』のが好きなのです。『値切られた』海外の羽毛精製業者は、それなりにコスト(品質)を下げて出荷せざるを得ません。

全ては、とてもビジネス・ライクに行われ、販売時の品質表示は『値切る』前の本来あった筈の品質が堂々と表示される事になります。

このようにして、表示と中身が似ても似つかぬ高級ハンガリーグース羽毛布団が、日本中で溢れ返るほど販売される事になるのです。

時にはネットサイトで激安を謳い、時には悪徳な訪問販売であきれるほどの高値販売で売られる。これを、取り締まるべき政府当局は、小規模・零細な工場があまりに多すぎて、手の打ちようがないのが実情です。

さらに、違反が明らかになっても、違反業者に罰則は一切ありません。もうお忘れかもしれませんが、お肉の偽装表示がニュースで騒がれたとき、影響を受けた20数社の取引会社のうち、名前を公表されたのは1社のみでした。小規模の会社名が公表されると経営悪化を引き起こすとの理由でした。

羽毛ふとんを選ぶ前にメーカー選び

今までにも、業界団体があらゆる流通ルートから、羽毛布団試買検査をおこない、あまりの偽表示ぶりが、何度も業界新聞に取り上げられてきましたが、生産者名を公式に発表されたことは一度もありません。

ひそかに同業者間で、あの会社とこの会社の表示はでたらめぶりがひどすぎると、ささやかれているだけです。こうした、日本の現実にあって、羽毛ふとんについては、国内の自社洗浄工場を持ち、羽毛処理技術も高く、しかも競争によってリーズナブル価格で販売している、優良メーカートップ4社のみの品しか、とてもこわくて、わたしが絶対にお奨めしない理由なのです。

独断と偏見で私が選んだ安心信頼の羽毛布団メーカー(順不同)

- 西川産業(東京西川)
- 西川リビング(旧社名 大阪西川)
- 山甚物産(ジンプット)
- ロマンス小杉



他にも、すぐれたメーカーはあるのですが、情報量が少なく、羽毛ふとんに触れる機会もあまりない、一般消費者にとっては、知名度のある優良メーカーに絞り込んで、商品を選んだほうが得策です。

店頭に並んだ羽毛布団のなかには、製造メーカー名すら表示していないものもあり、このメーカー確認が、損をしない羽毛布団選びの第一チェックポイント！

でも無批判に、これらのメーカー品を受け入れてはいけません。

ここに取り上げたメーカーでも、いまや通販や量販店、ホームセンターに至るまで、販路を持っており、設定価格に合わせてコスト削減を行なった、それなりの羽毛布団を大量に出荷しています。そこを見極める、賢明な消費者になるために、次章から、この優良メーカートップ4社の羽毛ふとんを前提に、価格の秘密を明らかにしていきます。

■羽毛増量布団はお得？

ここでもう一点、シングルサイズ150×210cmで、羽毛中綿重量1.5kg以上の『羽毛増量』品は、購入時要注意。参考はサイト上のこちら

<http://www.anmin-ne.com/knowledge/uumocheck009.html>

羽毛中綿重量、1.5kg以上のものは、要注意、避けましょう。安くていい羽毛布団は、中綿羽毛の重量1.2kg～1.3kgのものに多く見られます。これは、意外に重要なチェック項目です。これをチェックしていると、プロがビックリ、あなたが“ただ者”じゃないと真っ青になります。

羽毛布団なか綿について・臭う羽毛ふとんを掴まされない秘訣

前の章で、わたしがあまりに強いこだわりで、優良メーカートップ4社の羽毛ふとんしか、とてもお奨め出来ない理由をお話しました。

世界中の羽毛原産国から輸出される時には、輸送コストを下げる為、ふんわり羽毛をぎゅうぎゅう詰めに梱包し送られます。

その羽毛の復元を、どの程度実施しているか。つまり海外の工場に完全依存している、殆どの中小・零細メーカーの取り扱う羽毛と、さらに国内において日本の真水で再洗浄と除塵・抗菌・精製処理を、高度の羽毛処理技術で徹底して行っている、優良トップメーカーの羽毛とでは、同じ品質表示でも天地ほどの差があります。

安くて当たり前の日本製高級グース羽毛ふとん(偽表示も含め)と称するものが、日本国内で大量に流通する理由の主なもの以上です。

今回からは、優良メーカートップ4社の羽毛ふとんを“前提”に、価格の秘密を明らかにします。

まずは、羽毛のグレードについて。

羽毛ふとんが普及し始めの頃は、『水鳥羽毛100%』であるとか、『ダウンの比率』の多いものが高級品であると、一般に信じられていました。この『水鳥羽毛100%』であることは当たり前。

なぜなら、水鳥から採取した羽毛芯には、不思議に肉片が一切付いていないのです。かたや、鶏などの陸鳥から採取した羽毛芯の中心には、かすかに肉片が残っており、この陸鳥羽毛が僅かでも混じった羽毛布団は、徐々に腐った肉の臭いがし始め、嫌な虫がわいてきます。

いまでこそ、聞かなくなりましたが、羽毛布団が普及し始めたころには、お客様からしばしば相談され、『処分するしかない。』と、お伝えしたものです。つまり、羽毛布団の中身は『水鳥羽毛100%』は当たり前・必須なのです。

また、羽毛布団がすっかり普及した現在では、『ダウンの比率』が80%以上がシングル価格2万円以下は、今や当たり前。逆に、ダウン率70%以下の羽毛布団を『お値段以上』と言って(当たり前価格?)販売し、大成長した販売店も出ていますが、寝る時間を大切に、感動の寝心地羽毛布団を、しっかり選んで格安ゲットするか。

それは、あなたの自由選択です。

ダウン比率と産地重視で羽毛布団を選ぶと損をする！

注:ダウン比率を重視して羽毛布団を選ぶと絶対損をします。それより羽毛ふとんの選び方で、大きな要因となるチェック項目は、

ダウン比率と産地重視で羽毛布団を選ぶと損をする！

〈1〉『ダック(あひる)』か『グース(ガチョウ)』か？

〈2〉『グース(ガチョウ)』か『マザーグース』か？

〈3〉『マザーグース』か『超・マザーグース』か？

〈4〉究極の『アイダー・ダウン』か？

上の例では、〈1〉より〈2〉、〈2〉より〈3〉が高級羽毛となってきますが、今の日本でとても多い、『偽アイダー』については、優良メーカートップ4社の羽毛ふとんが“前提”ですので、ここでは触れません。

これに、羽毛の産地国が複雑にからんで、グレードが決まります。

普及品の多くが、中国羽毛。

比較的普及品の多いフランス産や、一般的なヨーロッパ羽毛。

普及品から高級品まで、幅広いハンガリー産とカナダ羽毛。

どちらかといえば、高級品として知られるポーランド産と英国羽毛。そして、絶対的な希少高級羽毛の『アイスランドアイダー羽毛』。

アイダー羽毛は別格として、この産地のチェックが第3項目です。

この中で、ダック羽毛については、品質表示で『ダック』と表示されているものは、ほとんどありません。ホワイトダウン〇〇%と表示されたものは、まず『ダック』と思って下さい。

つまり、『グース羽毛』以上のものは、必ずそのグースという表示があります。その表示がないものは『ダック』と思った方が良いという事です。

****ポイント****

■ 羽毛品質チェックを誰でも出来る簡単なコツ ■

羽毛布団の品質表示に、『グース』表示を見つける！ただし、優良メーカー品の製品が前提です。偽表示を行っているメーカーのものだと、全ての前提が崩れてしまいます。おすすめ優良メーカーのグースダウン羽毛布団はほとんど臭いが気になりません。

注意すべきは、ダックダウンです。トップメーカーと言えども、テレビショッピング向けや、通販・量販店向けに、コスト重視で歩留まりを高めた羽毛は、どうしても臭いが残ります。これは、洗浄すればするほど、原料羽毛が減っていくからです。いま日本の産業界を覆う、(歩留まり重視=生産性向上)が検査偽装・データ偽装を生み出しています。このチェックこそが、販売店の最大の使命と私は思っています。

具体的な価格をそれぞれに当てはめられないのが、残念ですが、



羽毛の産地&ブランド名を過信しない

『ダック羽毛』で、実売価格シングル5万円以下。

『グース羽毛』で、実売価格シングル約5万円以上。

『マザーグース羽毛』で、実売価格シングル約8万円以上。

『アイスランドアイダー羽毛』で、実売価格シングル約70万円以上。

これは、一般的ながわ生地仕様での、大雑把な私の主観です。大体の目安と思って下さい。

このほかにも、アイダーを目指してマザーグースを特別生育してつくれた、例えば西川リビングの『ロイヤルマジスティ羽毛』などの超感動的な羽毛布団が実売価格シングル約25～30万円であります。

あなたのライフシーンと、お好みに応じてグレードをお決めになると、価格を超えたとても満足度の高い羽毛ふとんが、お選び頂けると思います。

■ 羽毛の産地を過信しないこと。

かなり以前、当時の大阪西川がハンガリーキングダウンという羽毛布団を販売していました。私も最初に手にした時、見栄えもよくハンガリーグース羽毛の中でセレクトした上質品と勘違いしてしまいました。

しかし、直ぐに商品の品質表示の何処にもグースの表示がない事に気づき、担当者に『ひょっとして、ダック羽毛？』と、質問したところ、

「えっ、そこまで気づきませんでした。確認します。」

と、はぐらかして帰りました。

判っていて逃げたの是一目瞭然。

他にも、ロマンス小杉のフランスロイヤル・スノーダウンという羽毛布団があります。悪いものではありませんが、勿論『グース羽毛』ではありません。

女性でも、美しい『美子さん』もいらっしゃるけど、そうでない『美子さん』もいらっしやいます。(ちょっと冗談が過ぎました。御免なさい。)

《教訓》損をしない羽毛布団選びでは、名前に幻惑されない事。

羽毛布団メーカーでは、羽毛の生産国を表示しています。



しかし、例えば日本の国産米と言っても、コシヒカリをはじめ、秋田小町やひとめぼれ、その他その種類は多岐にわたります。更に、コシヒカリの中にも、中越地震で被害を受けた魚沼産のコシヒカリを筆頭に、全国各地で生産されており、その品質にはピンからキリがあり、また価格もピンキリです。

つまり、おなじハンガリー産羽毛といっても、国も広く羽毛生産農場の数も又無数にあり、その品質もピンとキリとでは、非常な差があります。

それと、最近の羽毛原料の高騰から、コストを抑える為に、シルバークラスと称する羽毛が多く出回る様になっています。

これは、純白のホワイトクラスだけに厳選するのではなく、色付き羽毛もそのまま原料として使用したもので、羽毛布団の価格とグレード比較には、その点もチェックが必要です。

もちろん羽毛に色が付いているからといって、品質が劣るわけではないので、いい羽毛布団を安くゲットするにはねらい目かもしれません。

現実には、ホワイト羽毛より、シルバー羽毛はかなり格安に販売されているようです。

このように、羽毛布団の価格は複雑な要因が絡み合って決まっており、最近では西川リビングを中心に羽毛のボリュームの差(羽毛の基本的な品質)から生じる『かさ高性』を評価の基準にしようとする傾向にあります。

西川リビングを例に挙げると、・かさ高性 DP表示:340立方cm/g以上)／

上質のダック羽毛――一般普及品クラス・車格に例えると軽四級

・かさ高性 DP表示:380立方cm/g以上／

一部の超上質ヨーロッパダック羽毛・車格に例えるとビッツ級

・かさ高性 DP表示:390立方cm/g以上／

ハンガリークラス羽毛クラス品・車格に例えるとカローラ級

・かさ高性 DP表示:410立方cm/g以上／

ポーリッシュクラス羽毛クラス品・車格に例えるとコロナ級

・かさ高性 DP表示:430立方cm/g以上／

ポーリッシュ・マザークラス品・車格に例えるとマークX・クラウン級

・かさ高性 DP表示:460立方cm/g以上)／

アイダー羽毛にも迫る着心地・超高級羽毛――実売シングル約30万円程度――

羽毛ふとんダウン率の怪！

車格に例えるとベンツ級

・もうかさ高性では評価できない別格品、超高級アイスランド・ア11イダー羽毛――車格に例えるとロールスロイス

長々と書き述べましたが、今後のあなたの羽毛ふとん選びの一助となれば幸いです。

■ 羽毛ふとんダウン率の怪！（店長の内緒話から抜粋）

羽毛ふとんを選ぶ基準として、一般にダウン比率でよく比較されますが、このダウン比率、どの程度参考になるとあなたはお考えでしょうか？

西川をはじめとする、優良トップメーカーでは93%などの中途半端な数値が目立っています。

これに対して、一般のメーカーでは90%、95%といった表示になっています。

この点はどう受け止めたらいのでしょうか。

JISをはじめ、日羽協の規格には、5%刻みの規格が定められており、またこれにはあたりまえとして少し誤差が認められています。

マイナス5%の誤差です。

つまり、ダウン95%の表示品でも、ダウン90%は合格品なのです。

これを一部のメーカーは逆手にとって、最初から90%の品を95%表示する事も平気でやっています。

90%をめざした品がマイナス5%でOKですから、検査したら95%表示品が85%以下だったという事は、当たり前ともいえる事です。

これを、見分けるには、専門機関で再検査するしかなく、布団を外観から見ただけでは、プロでも絶対に見分けはつきませんので、一部メーカーではやりたい放題となってしまうます。

これに対して、優良トップメーカーでは、ダウン表示比率を最低数値にしています。

もうあなたも充分お分かりと思いますが、一部メーカーのダウン比率95%羽毛より、優良トップメーカーの93%羽毛の方が、はるかに上質品になっているのです。

羽毛ふとんの購入頻度がそんなにあるわけではなく、羽毛ふとん選びのチェック基準を口を酸っぱく言っても、なかなか目にされる方も少なく、認識不足から「購入して後から分かって失敗した。」との声をよく聞かされます。

寝具の二重価格

わたしが、西川産業、西川リビング、山甚の羽毛布団しか販売できないのはそのため、メーカーの名前で価格を釣り上げているではありません。私の実感として、逆にこのトップメーカー製羽毛布団の方が、同じグレードならはるかに安く販売されているのは、不思議としか言いようがありません。

むしろ、高いものはいいものという錯覚を逆手にとって、二流品が堂々と高額販売されているのが実情です。

長々と書き述べましたが、少しでもあなたの羽毛ふとん選びの一助となれば幸いです。

■ 寝具の二重価格

問題: 次の品、どちらがお得でしょう？

A. ¥126,000 の羽毛布団が、--->>¥29,800に

B. ¥52,500 の羽毛布団が、--->>¥39,800に

あなたはどちらを選びますか？

正解は、『どちらかお得か分かりませえ〜ん。』

この寝具メーカーの表示する、メーカー希望小売価格とは？

この点について、実はお客様との会話の中で、グレード比較をされていて、フツと気づき大いに反省させられた問題です。

この実態が全く判らない二重価格表示は、日本の流通機構の歴史変化と、大きく関わっているのです。

30~40年前の高度成長期当時までは、家電製品も訪問販売で多く売られていました。

年配の方は、当時高額品だった電気製品のみならず、ミシンやベッドの月掛け販売を思い出されるのでは？

高かったのです。メーカーも二重価格が常識でした。が、いまや訪問販売で家電製品を購入する人は、いないのでは？

メーカーも二重価格にするメリットが薄らいでしまいました。

ところで一方、寝具はといえば、悪徳商法のみならず、訪問販売花盛り。

西川でも専門店全国総会の席上で、売上トップの表彰を受けるのは、多くが、訪問販売が得意なお店。二重価格が必要なのです。



二重価格の廃止に、積極的な寝具メーカーから、使い分けを旨くやっているメーカー。

無茶苦茶な二重価格オンリーのメーカーと、寝具業界も玉石混淆、魑魅魍魎の世界。

意味のわかんない言葉が出てきましたね。年齢が分かりますね。このように、寝具の価格、特に羽毛布団の価格は複雑な要因が絡み合っていて決まっており、単純に、何割引で羽毛布団のお買い得度を推し量るのは、大変危険な事なのです。

-
- ダウン率、産地だけで羽毛布団を選ぶと損をする！
 - 羽毛フンの値打ちと価格は連動していない？
 - 買ってはいけない羽毛ふとんメーカーがある！
 - がわ生地ポリエステル100%の羽毛布団をためらわずに勧めるお店で買ってはいけない！
等々。羽毛布団業界の常識は、一般世間の非常識が、山のようにあります。

■ 羽毛布団を見て「超長綿ですか？」と聞くバカ。

今では、ホームセンターの安売り羽毛布団でも、表示は一応超長綿と言う事になっています。

あなたは、「何十番糸を使った生地ですか？」と、聞いて下さいね。

それに対する説明だけで羽毛布団売り場のレベルが分かります。

《当たり前なのです、羽毛布団の側生地が超長綿なのは。》

余程の粗悪品でない限り、綿100%の羽毛布団側生地は、一万円程度の製品から全て超長綿が使われています。

つまり、超長綿である事は羽毛布団品質比較のよりどころにならないのです。

■ 比較基準は何なのか？

超長綿とは、棉花の繊維長比較であり、この原綿が紡績工場です。糸にされる時、その細さによって40番単糸60番単糸80番単糸100番単糸と、番号が大きい程、細くて高級糸になるのです。

そしてこれが布になる時、

ツイル織り(綾織り)、



サテン織りとなり、

一般的に羽毛布団の側生地には

- 1) 40番単糸ツイル織りー普及品
- 2) 60番単糸サテン織りー中～高級品
- 3) 80番単糸サテン織りー高級品
- 4) 100番単糸さらに220番双糸サテン織りー超高級品

として、使用されているのです。この事を知らない布団屋さんが、随分多い事をあなたはご存知ですか？(かなり相当の割合で。)

どこかの布団屋さん。『値段が高いモノは、品物がええんじや。』

『……。』

双糸の事を言い忘れました。

例えば、「140番双糸です。」と、言われて凄い。と思っははいけません。

双糸とは、140番の糸2本を撚糸したもので、70番単糸と同等のモノになります。

でも、60番単糸にしても、140番双糸にしても、手触り抜群の素晴らしい生地ですよ。

一般的には殆ど、40番ツイル織り生地が使用されているのですから。

■ 一般のシルク100%がわ生地羽毛は避けること。

『それと正絹がわ生地は裂けやすいけど、はったりが利くせいかぼったくり系布団によく使われますね。私の個人的な考えですが、アイダーと正絹の組み合わせはいいかげんやめた方がいいと思う。5, 6年で仕立て直しに、ん十万もかかるなんて知らないで買わされた日にゃいくら金持ちだって納得できないでしょう?』

ある寝具店さんと『立派なケースに入った、粗悪高額羽毛布団。』

について語り合っていたら、激高して言われたのが上の発言です。

全くその通りです。

常日頃、店頭でもお客様にシルク側生地の羽毛布団は避ける様に、口を酸っぱくして言ってることです。

最近の西川リビングの新製品では、逆にシルクからアミノ酸成分のセリシンを除去し、耐久性を高めたシルクジャガード織生地を最上級シリーズに採用し、商品展

開を行なっていますが、今までの固定観念が16ら、ちょっと引いてしまいました。

この説明を聞いていて、シルクはアミノ酸のセリシン成分が溶けるから、お肌にいいんだと逆に納得してしまいました。

でもお肌にいいからと言って、高額で購入した羽毛布団が10年持たなかったらネ～。

超高級羽毛布団には、コストのかかる特殊加工シルク100%がわ生地の羽毛布団も、人気が高まってきています。

でも、未処理の絹100%羽毛布団に、無条件に飛びつくのは絶対に避けてくださいね。

羽毛布団が普及し始めて、30年超え！目覚ましい技術革新

ここで、最近人気が高まっている、ゴアラミネート加工の西川ロイヤルスター羽毛布団について、触れておきます。

西川ロイヤルスター羽毛布団がわ生地について。

快眠度130%・ダニ・ホコリからガード・清潔ロイヤルスター羽毛布団

寒がりも暑がりも、心地良く眠れる羽毛布団はないの？

ムレ易さの原因は生地に問題が

実は羽毛を、がわ生地に閉じ込めているのが、羽毛布団なのネ。

そうなんです。羽毛を直接肌に当てると、とても気持ちいい柔らかさですが、顕微鏡で見ると羽毛の先端は、ピアノ線の様にとっても硬くコシが強いので、不適切ながわ生地では織り目を突き通して、ふとんから表面に羽毛が出てしまうのです。



羽毛布団が普及し始めの昔と違って、技術の進んだ現在では、羽毛の吹き出しを押さえた、肌触りの良い超長綿が、がわ生地には使用されています。それでも、布団の中にもったムレを追放するには、生地の湿気透過力が妨げとなっているのです。

追補.

そして、この根源的な弱点による悲劇とは？

折角の優れた羽毛の息づかいや保温性が、生地を通してしか分からないのが、これまでの羽毛布団の弱点だったのです。

だから、高級羽毛布団なのに？

おススメはロイヤルスター羽毛ふとん・プレミアム

暑がりの方にはムして寝苦しい。

ムして寝苦しいので、布団を蹴飛ばして、朝、風邪をひいていた。

ダブルサイズで就寝中のご夫婦では、暑がりのご主人が夜中に布団をめくり、寒がりの奥さんがぶるぶる震えて、大喧嘩に発展。

なんていう悲劇が、数限りなかったのです。

この羽毛の吹き出しを無くし、羽毛の優れた特徴の“息づかい”や保温性を、肌で感じられる羽毛布団はできないのか？

そこで、西川リビングの研究陣が目をつけたのが、雨でも体が濡れず、かいた汗はこもらない、スキーウェアや登山服用の“ゴアラミネート素材”でした。でも、このゴアラミネートは生地が厚くゴワゴワし、そのままでは羽毛布団の“がわ生地”には不向きです。

西川リビングが改良に改良を重ねて、羽毛布団用ゴアラミネート加工によるロイヤルスター羽毛布団が、やっと誕生したのです。



今では、最高級のシルクにも迫る、柔らかい肌触りの最新ロイヤルスター羽毛布団が、人気を集めています。

秋冬春、通して使用してみると、

『羽毛布団をより軽く感じる。』

『寒くなるほど暖かく、季節が暖くなるほど爽やかで心地よい。』

『ムレを感じないので、より暖かくよく眠れる。』

『夫婦で仲良く寝られるようになった。』

など数多くのお声が。

まさに上質羽毛の優れた特徴である、生きているかのような羽毛の息づかいや保温性を、肌でじかに感じられると大評判。

ところが、このロイヤルスター羽毛布団の優れた点は、それだけではなかったのです。

本来、雨に濡れず汗は放出するという、優れた特徴のゴアラミネートでしたが、改良された羽毛布団では水や汚れを通さないので、羽毛のきれいが長持ちする。

従来の上質羽毛布団がわ生地に比べ、透湿度130%アップ。

ダニも通さない、清潔衛生布団。アレルギーの方も安心。

人気が出ればすぐに、類似のゴアラミネート羽毛布団が数多く出回っていますが、わたしのお奨めは、改良の歴史を重ねた、最新の西川ロイヤルスター羽毛布団です。


なかでも、お客様の声と販売店&西川の三位一体企画での、コストパフォーマンスの高い、お買得品を選びすぎた、【OT21プレミアム】ロイヤルスター羽毛布団を、一生ものの羽毛布団にぜひお選びください。

快適度アップ“ロイヤルスター羽毛布団”が理想を現実にも！

清潔で快眠度130%&ダニ・ホコリをガード・ロイヤルスター羽毛布団

更に詳しい内容は

<http://www.anmin-ne.com/shop/down/downroyalstar/index.html>

『羽毛ふとんの価格の秘密・レポート』2018年改訂版を最後までお読み頂き、有難うございます。

あなたがより幸せな羽毛ふとんライフをお楽しみいただけますよう、少しでもお役立ていただければこの上ない喜びです。

= 追補 =

もう業者のカモにはならない『羽毛布団の価格の秘密』を、最後までお読みくださったあなたに、特別のお知らせです。

■特典：お買い上げ合計額が3万円以上で、5% OFF

■特典：【ネットショップクーポン・千円】プレゼント

<http://www.anmin-ne.com/>

でお買い物をされる場合、レジにて割引コード「P96sSDz」（半角英数・7文字）を記入すると、1,000円値引されます。（有効期限：4月20日迄）

最後に

不要なリフォームを迫る、電話訪問商法が全国的に急増しています。

「無料点検」等の、甘い言葉にご注意ください。

